

# 2022無雪期ガイド研修



天気に恵まれた我拝師山。紅葉した木々が彩りを添える。

日時：2022年11月21日(月曜日)

場所：我拝師山 香川県善通寺市

参加者：佐藤孝雄 重川真粧美 田中慎二 杉村康之 水沼佑太 大崎吉晃

四国山岳ガイド協会2022年度事業計画に期り、  
無雪期ガイド研修を実施いたしました。  
今回は急峻や岩場や急斜面の樹林帯において  
顧客の安全をいかに確保しながらガイドングするかをテーマに行いました。

朝8時に出釈迦寺上の駐車場に集合。

今回の参加者は6名。

研修に利用したのは奥の院から我拝師山山頂までの岩場の登山道。

山頂からは筆ノ山手前の鞍部までの樹林帯の急な下り。

ガイドが顧客に対して

転倒や滑落のリスクが考えられる場所では、

注意喚起だけではなく

ロープなど具体的な安全対策を講じて顧客の安全管理を行う必要があります。

状況によりロープの使用方法は様々。

佐藤ガイドから各場所でのロープの使用方法や注意点などを教わりながら、

参加者全員がガイド役と顧客役を交代しながら

お昼を挟み、午後3時半ごろまで研修を継続。

解散予定時刻の午後4時ごろ駐車場に到着し、

無事研修終了となりました。



集合場所にて。まずは佐藤ガイドが用意した資料をもとに座学を行なう。



研修場所の奥ノ院に向かってコンクリートの道を登っていく。



危険箇所の始まり。  
佐藤ガイドから現場に応じたロープの活用方法を教わる。



ガイド役と顧客役を交代しながら確保方法を確認。



上部で支点を構築しムンターヒッチで確保する。



最も重要な支点の取り方を佐藤ガイドが指導する。



ガイドの無駄な行き来をなるべく無くしながら顧客をいかに効率よくロープで確保していくか。  
いろいろな方法が紹介される。





お昼を挟んで午後は樹林帯での研修。  
下りでは顧客のリュックを利用して後方から確保しながら同時に下っていく方法を全員で実践。



急峻な場所では  
立ち木にロープを掛けた摩擦を利用して制動をかけながら顧客を下ろしていくトレインビレイを教わる。



下山するまでガイド役と顧客役は続く。



我拝師山と筆ノ山の鞍部に下山。

峠の法面にて倍力システムにて引き上げる際に、  
ガルダー（ガルダ）を使って逆戻りを止められるかを検証。

この後、車道を歩いて集合場所の駐車場まで戻り解散となった。

今回、顧客の安全を守るためのロープワーク研修を行いました。  
この技術は常に磨いておかねば、  
精度が落ちるのはもちろん、  
状況に応じた最適な方法で且つスピーディーに対応するのは非常に難しい。  
常に最適解を見つけようとする姿勢を保ちつつ、  
定期的に研修を行って行きたいと考えています。



解散時に全員で集合写真。  
お疲れ様でした！